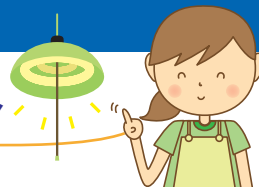


今やecoブーム。照明をLEDに変えて節約を…!なのですが、LEDは、まだまだ高価で買い換えできていない、という方も多いかも。そこで、今回はまだまだ多い蛍光灯のお話です!

▶ 蛍光灯のちらつきの原因は?

蛍光灯がちらつくようになったら「蛍光管を取り替える」と考えがちですが、ちらつきの原因は蛍光管の寿命とは限りません。蛍光灯を変えてもなおらない場合にチェックしたいポイントやチェックのしかたを紹介します。

故障かな?と思ったら3つの原因箇所をチェック!!



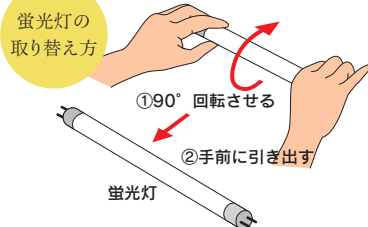
チェック 1 蛍光灯

蛍光灯の寿命は、時間で言うと6000～12000時間です。1日8時間点灯したとして、2年～4年くらいです。

蛍光灯の明りがだんだん暗くなってきたり、図1のように、蛍光灯の端が黒ずんでくると点滅しやすくなります。蛍光灯を交換しましょう。



最近取り替えたばかりなのに点滅する場合は、他の原因が考えられますが、一番の原因は点灯管が切れている可能性が高いことです。→チェック2へ



※寿命を考えて、蛍光灯を取り替える時は、点灯管もセットで取り替えるのがコツ!です。

チェック 2 点灯管

点灯管とは、一般にグロー球と呼ばれている豆電球のような器具です。

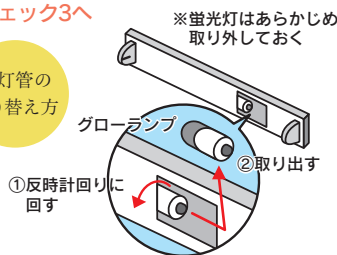
蛍光灯をつける時にはたくさんの電気が必要です。そのため点灯管が放電のきっかけを与える役目をしています。



蛍光灯を交換しても点滅する場合は、点灯管が切れている可能性が高いです。蛍光灯や照明器具に負担がかかるので早めに交換しましょう。蛍光灯、点灯管の両方を交換しても点滅する場合は、照明器具が古くなっていることも考えられます。

→チェック3へ

点灯管の取り替え方



チェック 3 照明器具

照明器具の寿命は8～10年。それ以上の使用は、経年劣化しているため漏電や電気代が高くなってしまいうことも。10年以上経っている場合は、交換を検討してもいい時期かもしれません。古くなってチカチカしたまま使っていると、見にくい上に無駄な電気を使うことになってしまうので、早めに対処しましょう。



※ここまで来るとLEDへの買い換え検討時期かもしれません。



- 作業前に必ず照明の電源スイッチを切ってください。
- 感電の恐れがあるので、濡れた手で作業しないでください。
- 使用直後の蛍光灯は熱くなっています。蛍光灯が十分に冷めた状態で作業を行ってください。

『311号LED電球の正しい知識』『276号シーンにあった照明の使い方』『269号ちょっとの工夫で!!遊び心あふれる照明器具』『250号光ひとつで部屋の表情が変わる!照明で空間のコーディネート!』もあわせてご覧ください。

まだまだあります **バックナンバー**。詳しくは「住まいの宝箱」HPの(お困りキーワードでサイト内検索!)で!